

はままつ文化サポート対象事業

実施団体名	浜松沖縄芸能村「琉花舎」		
事業名	第 2 回 琉花舎 沖縄芸能まつり		
実施年月日	平成 24 年 11 月 4 日（日）		
実施場所	浜松市天竜壬生ホール	実施回数	1 日間 1 回
入場料	有料 500 円		
事業内容	私たち「琉花舎」は、ここ浜松で沖縄の伝統芸能、文化を勉強し、創作しています。小学生から大人まで幅広い年齢層の中で、沖縄を見つめることは、単にその芸能を知るだけでなく、沖縄の歴史を知り、人々の生活を知り、人々の生きる力を知り、そして、人々の、深く平和を願う心を知ることでした。 沖縄の芸能文化を通して、私たちはそれが、今ある沖縄問題、そして、福島をはじめとした全ての原発問題、私たちの社会そのものの在り方を問うていると感じています。平和で希望ある未来を子供たちに残したい。そんな、私たちの平和への思いを、今いる会の子供たちだけでなく、浜松の、未来ある子供たちに広く広め、つなげていきたいと企画したのが今回の「琉花舎：沖縄芸能まつり」です。舞台出演者を市内の子供たちに募集したり、私たちが勉強している沖縄芸能文化を披露、紹介したりすることで、ここ浜松で、広く発信していきたいと考えます。 沖縄の伝統芸能の一つであるエイサーは、その昔、江戸時代に沖縄に来た福島のお坊さんが伝えた念仏踊りが始まりだと言われています。福島といえば、津波と原発問題の二重の苦しみを余儀なく負わされているところです。そんな、沖縄と福島のなんともいえない深いご縁に考えさせられながら、私たちは今回、入場料の中から福島に義捐金として届けたいと考えています。また、それは、今回限りでなく今後も続けていきたいと考えます。私たち浜松市民も近くに浜岡原発がある身です。今回の事業内では、福島の方と交流を通して、私たちも他人事のように考えることなく、一人一人が真剣に向き合い、勉強していきたいと思っています。 なかなか、ここ浜松で間近に沖縄芸能を見る機会はありません。沖縄芸能を通して、「浜松の子供たちが真剣に平和を考える」私たちの文化活動が、浜松の地域活性化につながり、浜松市民の文化への関心が高まる一つになればと願っています。		
波及効果	私たち琉花舎は沖縄出身の代表を中心に、「沖縄」をキーワードに集まった一般市民たちが稽古を通して自分たちの可能性を追求している団体です。その中でも、子供たちにおいては、唄や踊りを通して、明るく楽しい未来の街を創造できる大人になってほしいとの願いで、世代を超えて子供たちを温かく包み活動しています。そんな特色ある市民団体の活動を、事業を開催することで広く市民に知っていただき、それが浜松の地域活性化につながり、文化意識を高め、郷土愛を育むことにつながることを期待しています。また、市民発信の震災復興の応援がますます活性化し		

	ていくことも期待しています。
事業費総額	650000
助成金額	150000